令和元年度　第２回　岩手県道路メンテナンス会議

日時：令和２年２月２０日（木）
13:20～14:50
場所：盛岡市総合福祉センター　４Ｆ講堂

次　　第

１．開　会

２．挨　拶

３．道路メンテナンスに関する最近の話題　【資料１】

４．議　事

（１）規約改正　「規約改正」

（２）令和元年度の活動報告　【資料２】

（３）平成 26～30 年度の修繕実施状況　【資料３】

（休　憩）

５．意見交換（非公開）　【資料４】

６．情報提供等（非公開）　【資料５】

７．閉　会

道路メンテナンス事業補助制度を創設①

資料1

○ 道路の老朽化対策について、橋梁、トンネル等の一巡目点検が平成30年度末に概ね完了し、橋梁では次回点検までに措置を講ずべきものが全国に約7万橋存在
○ 地方公共団体の橋梁では修繕に着手したものが約20%に留まることを踏まえ、「道路メンテナンス事業補助制度」を創設し、措置が進むように計画的かつ集中的に支援

（単位：億円）

事項	事業費	対前年度比	国費	対前年度比
直轄事業	15,795	1.00	15,795	1.00
改築その他	10,675	1.00	10,675	1.00
維持修繕	3,945	1.04	3,945	1.04
諸費等	1,175	1.00	1,175	1.00
補助事業	7,945	2.31	4,550	2.32
地域高規格道路、IC等アクセス道路その他	2,154	1.08	1,197	1.08
道路メンテナンス事業補助	3,857	皆増	2,223	皆増
交通安全・無電柱化等	825	皆増	450	皆増
大規模修繕・更新	－	皆減	－	皆減
除雪	169	1.05	113	1.05
連続立体交差事業	940	1.03	505	1.03
補助率差額	－	－	63	1.31
有料道路事業等	25,419	1.02	127	0.73
小計	49,159	1.12	20,472	1.15
臨時・特別の措置（防災・減災、国土強靱化のための緊急対策）	1,448	0.97	1,448	0.97
合計	50,607	1.11	21,920	1.13

[参考]公共事業関係費（国費） 通常分(A)：60,669億円（対前年度比1.00）、臨時・特別の措置(B)：7,902億円（対前年度比0.93） 計(A+B) 68,571億円（対前年度比0.99）

※補助事業 国費4,550億円には、個別補助制度創設に伴う防災・安全交付金および社会資本整備総合交付金からの移行分 国費2,595億円を含む。
含まない場合、補助事業 国費1,955億円[対前年度比1.00]である。大規模修繕・更新は道路メンテナンス事業補助への統合により皆減としている。
※この他に、防災・安全交付金（国費10,388億円[対前年度比0.79]（臨時・特別の措置を除く場合 国費7,847億円[対前年度比0.75]））、
社会資本整備総合交付金（国費7,627億円[対前年度比0.88]（臨時・特別の措置を除く場合 国費7,277億円[対前年度比0.87]））
があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。
※この他に、東日本大震災からの復旧・復興対策事業（国費1,662億円[対前年度比0.95]）がある。また、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として社会資本整備総合交付金（国費1,198億円[対前年度比0.98]）があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

注1. 上記の他に、行政部費（国費9億円）がある。
注2. 直轄事業の国費には、地方公共団体の直轄事業負担金(3,068億円（臨時・特別の措置を除く場合 2,961億円））を含む。
注3. 四捨五入の関係で、各計数の和が一致しないところがある。

出典：令和2年度道路関係予算概要

道路メンテナンス事業補助制度を創設②

○ 道路の点検結果を踏まえ策定される長寿命化修繕計画に基づき実施される道路メンテナンス事業（橋梁、トンネル等の修繕、更新、撤去等）に対し、計画的かつ集中的な支援を可能とする個別補助制度を創設する。

■ 道路メンテナンス事業補助制度の創設

○ 概要

高度経済成長期に整備した道路施設の老朽化が急激に進んでおり、例えば橋梁では、建設後50年経過する橋梁の割合が、現在は25%であり、10年後には50%に急増する。
平成26年度から平成30年度までの一巡目の点検において、次回点検までに措置を講ずべき橋梁は、全体の約1割（約7万橋）存在する。
このうち、点検結果を踏まえて平成30年度までに修繕に着手した橋梁は、地方公共団体管理で20%にとどまっており、措置が遅れている状況となっている。これらに対して、早急に対策を実施できるよう地方に対して計画的かつ集中的に支援を行う必要がある。

➢ 地方公共団体は、長寿命化修繕計画（個別施設計画）を策定・公表
➢ 橋梁、トンネル、道路附属物等の個別施設毎に記載された計画に位置づけられた事業を支援
（国庫債務負担行為を可能とし、効率的な施工（発注）の実施と工事の平準化を図る。）

長寿命化修繕計画

○○市 橋梁	○○市 トンネル	○○市 道路附属物等
長寿命化修繕計画【個別施設計画】	長寿命化修繕計画【個別施設計画】	長寿命化修繕計画【個別施設計画】
記載内容：・施設名 ・延長 ・判定区分 ・点検・修繕実施年度 ・修繕内容 ・対策費用 等	記載内容：・施設名 ・延長 ・判定区分 ・点検・修繕実施年度 ・修繕内容 ・対策費用 等	記載内容：・施設名 ・延長 ・判定区分 ・点検・修繕実施年度 ・修繕内容 ・対策費用 等
【橋梁】	【トンネル】	【道路附属物等】

道路メンテナンス事業

➢ 地方公共団体が管理する橋梁、トンネル等が対象

橋梁の例

損傷状況（鉄筋露出）

修繕の様子（断面修復）

トンネルの例

損傷状況（うき・漏水）

修繕の様子（剥落対策）

令和元年度　第2回
岩手県道路メンテナンス会議

令和2年2月20日

議　事

（１）令和元年度の活動報告　　【資料2】

（２）平成26～30年度の修繕実施状況　　【資料3】

1. 令和元年度の活動報告

資料2

岩手県道路メンテナンス会議の活動状況

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2019 (H31) (R元)	4 5 6	4/11　定期点検要領等改定説明会 6/12　事務局会議		
	7 8 9	8/22　第1回道路メンテナンス会議		
	10 11 12		11/26　橋梁補修及び耐震補強工事 現場講習・見学会 場所：前沢南こ線橋（奥州市） 参加者：19名 12/13　溝橋点検講習会 場所：砂込BOX（滝沢市） 参加者：12名	10/7　県版道路メンテナンス概要公表 10/18～　道路インフラ老朽化対策 ポスター展示 （県内道の駅14箇所）
	1 2 3	2/20　第2回道路メンテナンス会議 2/20　道路鉄道連絡会議		

1. 令和元年度の活動報告

資料2

■橋梁の定期点検要領ほか各種定期点検要領改定概要説明会

各道路管理者に橋梁の定期点検要領改定等について説明、意見交換

■参　加　者：岩手県道路メンテネンス会議構成各道路管理者ほか　71名（事務局含み）
■主　　催：岩手県道路メンテナンス会議
■開　催　日：平成31年4月11日（木）
■内　　容：1）定期点検要領（技術的助言）の改定概要説明
　　2）道路橋定期点検要領、道路トンネル定期点検要領等の改定概要説明
　　3）新技術利用のガイドライン等の概要説明
　　4）意見交換

▲各改定概要説明状況

▲説明受講状況

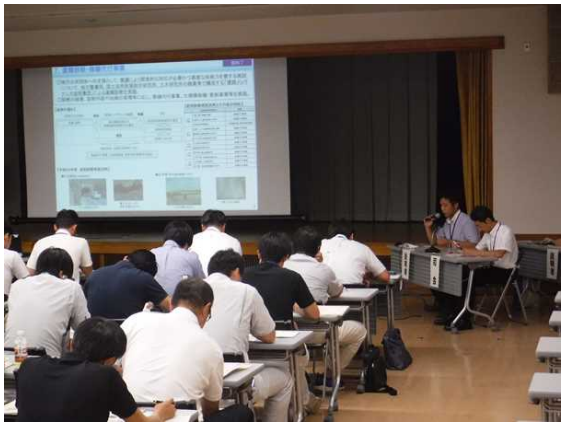
1. 令和元年度の活動報告

資料2

■橋梁・ﾄﾝﾈﾙ・道路附属物の定期点検１巡目結果、２巡目計画、令和元年度活動計画ほか

定期点検1巡目(H26～30)結果、2巡目(R元～R5)計画説明、R元年度活動計画

■参　加　者：岩手県道路メンテナンス会議構成各道路管理者ほか　71名（事務局含み）
■主　　催：岩手県道路メンテナンス会議
■開　催　日：令和元年8月22日（木）
■内　　容：１）定期点検1巡目（H26～H30）点検結果
　　２）定期点検2巡目（R元～R5）点検計画
　　３）R元年度活動計画
　　４）意見交換



1. 令和元年度の活動報告

資料2

■道路インフラ老朽化対策ポスター展示

道路構造物の現状・将来、定期点検1巡目(H26～30)結果、課題と支援制度紹介

■展示時期：令和元年10月～
■展示場所：県内主要道の駅　14箇所

岩手河国：事務所1Fロビー、道の駅「平泉」「石神の丘」「雫石あねっこ」
三陸国道：事務所＋5出張所、道の駅「高田松原」「さんりく」「やまだ」「みやこ」「たろう」「たのはた」「のだ」
岩手県：道の駅「みやもり」「くずまき高原」「三田貝分校」「いわいずみ」

▲道の駅　「雫石」

▲道の駅「石神の丘」

1. 令和元年度の活動報告

資料2

■橋梁補修工事現場講習会

自治体等職員（初心者向け）への橋梁補修及び耐震補強現場の見学と講習

■参　加　者：自治体職員及び直轄職員　19名（事務局含み）　8市町
■主　　催：岩手県道路メンテナンス会議
■開　催　日：令和元年11月26日（火）
■内　　容：1）橋梁補修工事現場見学（R4　前沢南こ線橋（奥州市））
・橋梁補修工事現場を見学し、各々の工事イメージを持ってもらう。
2）講習会（現地）
・保全対策官による、「点検結果～補修設計方針～補修内容」について講習。

▲講習状況

▲現場見学状況

1. 令和元年度の活動報告

資料2

■溝橋点検講習会

自治体等職員（初心者向け）へ「特定の条件を満足する溝橋点検」の座学と現地点検講習

■参　加　者：自治体職員及び直轄職員　12名（事務局含み）　5市町
■主　　催：岩手県道路メンテナンス会議
■開　催　日：令和元年12月13日（金）
■内　　容：1）本局道路構造保全官講話
・各種点検要領、技術的助言(H31．2改訂)解説
・特定の条件を満足する溝橋の定期点検、点検支援技術活用に関する講話等
2）現地点検講習　（R4　砂込BOX（滝沢市））
・既BOXを「特定の条件を満足する溝橋」に見立てて模擬点検実施

▲座学状況

▲現地点検講習状況

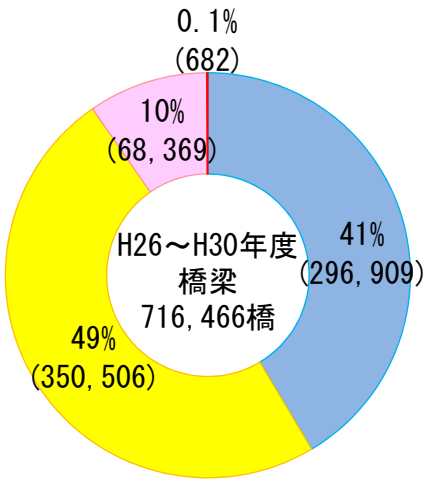
2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

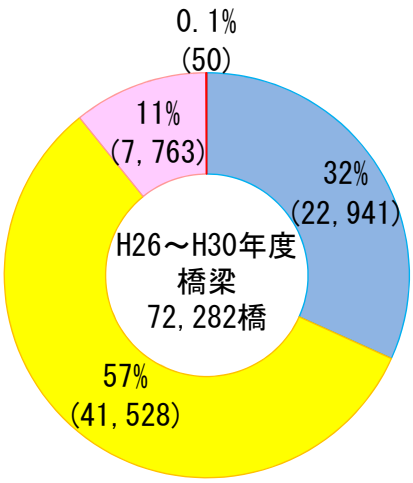
◆橋梁の1巡目（平成26～30年度）点検の判定区分結果 ［全道路管理者］

○橋梁の判定区分Ⅲ、Ⅳの割合（全道路管理者）は、全国：10%、東北：11%、岩手県：10%

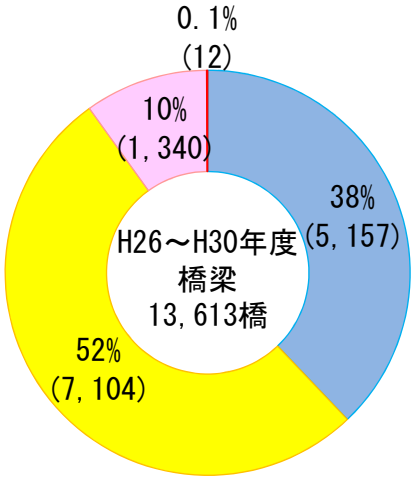
判定区分（全国）



判定区分（東北）



判定区分（岩手県）



※（ ）内は、平成30年度末時点管理施設のうち点検の対象となる施設数（平成30年度末時点で診断中の施設を除く）
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

区分		状態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

（参考）

2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

①橋梁　◆判定区分Ⅲ、Ⅳ施設の修繕実施状況（岩手県）

○橋梁では、全道路管理者で修繕に36%着手し、修繕着工は18%、修繕が完了しているものは13%

管理者	修繕が必要な施設数 A	修繕に着手済の施設数 B	修繕に着工済の施設数 C	修繕完了済の施設数 D	修繕着手率（B／A）	修繕着工率（C／A）	修繕完了率（D／A）
国土交通省	79	62	38	26	78%	48%	33%
高速道路会社	150	40	7	5	27%	5%	3%
県	233	60	34	25	26%	15%	11%
市町村	890	319	164	122	36%	18%	14%
合計	1,352	481	243	178	36%	18%	13%

A：平成26～30年度に判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設数　B：修繕（設計を含む）に着手した施設数　C：修繕工事に着工した施設数　D：修繕工事を完了した施設数
※道路メンテナンス会議調べ（R1.12末集計）

2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

①橋梁　◆判定区分Ⅲ、Ⅳ施設の年度別修繕実施状況（岩手県）

管理者	点検実施年度	修繕が必要な施設数 A		修繕に着手済の施設数 B		修繕に着工済の施設数 C		修繕完了済の施設数 D	
国土交通省	H26	79	18	62	18	38	13	26	7
	H27		18		16		6		4
	H28		12		12		6		5
	H29		16		10		7		5
	H30		15		6		6		5
高速道路会社	H26	150	27	40	5	7	4	5	2
	H27		24		5		1		1
	H28		25		13		2		2
	H29		27		17		0		0
	H30		47		0		0		0
県	H26	233	72	60	26	34	8	25	8
	H27		45		15		13		9
	H28		62		14		11		7
	H29		32		5		2		1
	H30		22		0		0		0
市町村	H26	890	70	319	26	164	13	122	10
	H27		151		84		51		39
	H28		323		124		57		49
	H29		217		61		26		20
	H30		129		24		17		4
合計		1,352		481		243		178	

※道路メンテナンス会議調べ（R1.12末集計）

2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

②トンネル　◆判定区分Ⅲ、Ⅳ施設の修繕実施状況（岩手県）

○トンネルでは、全道路管理者で修繕に40%着手し、修繕着工は23%、修繕が完了しているものは18%

管理者	修繕が必要な施設数 A	修繕に着手済の施設数 B	修繕に着工済の施設数 C	修繕完了済の施設数 D	修繕着手率（B／A）	修繕着工率（C／A）	修繕完了率（D／A）
国土交通省	18	14	13	10	78%	72%	56%
高速道路会社	13	10	0	0	77%	0%	0%
県	48	7	5	4	15%	10%	8%
市町村	20	9	5	4	45%	25%	20%
合計	99	40	23	18	40%	23%	18%

A：平成26～30年度に判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設数　B：修繕（設計を含む）に着手した施設数　C：修繕工事に着工した施設数　D：修繕工事を完了した施設数
※道路メンテナンス会議調べ（R1.12末集計）

2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

②トンネル　◆判定区分Ⅲ、Ⅳ施設の年度別修繕実施状況（岩手県）

管理者	点検実施年度	修繕が必要な施設数 A		修繕に着手済の施設数 B		修繕に着工済の施設数 C		修繕完了済の施設数 D	
国土交通省	H26	18	8	14	8	13	8	10	7
	H27		0		0		0		0
	H28		1		1		1		0
	H29		1		0		0		0
	H30		8		5		4		3
高速道路会社	H26	13	1	10	1	0	0	0	0
	H27		1		1		0		0
	H28		2		2		0		0
	H29		5		3		0		0
	H30		4		3		0		0
県	H26	48	14	7	3	5	3	4	2
	H27		10		3		2		2
	H28		10		1		0		0
	H29		12		0		0		0
	H30		2		0		0		0
市町村	H26	20	13	9	8	5	4	4	3
	H27		1		1		1		1
	H28		4		0		0		0
	H29		1		0		0		0
	H30		1		0		0		0
合計		99		40		23		18	

※道路メンテナンス会議調べ（R1.12末集計）

2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

③道路附属物等　◆判定区分Ⅲ、Ⅳ施設の修繕実施状況（岩手県）

○道路附属物等では、全道路管理者で修繕に24%着手し、修繕着工は11%、修繕が完了しているものは11%

管理者	修繕が必要な施設数 A	修繕に着手済の施設数 B	修繕に着工済の施設数 C	修繕完了済の施設数 D	修繕着手率（B／A）	修繕着工率（C／A）	修繕完了率（D／A）
国土交通省	6	3	0	0	50%	0%	0%
高速道路会社	23	8	5	5	35%	22%	22%
県	18	1	1	1	6%	6%	6%
市町村	8	1	0	0	13%	0%	0%
合計	55	13	6	6	24%	11%	11%

A：平成26～30年度に判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設数　B：修繕（設計を含む）に着手した施設数　C：修繕工事に着工した施設数　D：修繕工事を完了した施設数
※道路メンテナンス会議調べ（R1.12末集計）

2. 平成26～30年度の修繕実施状況

資料3

③道路附属物等　◆判定区分Ⅲ、Ⅳ施設の年度別修繕実施状況（岩手県）

管理者	点検実施年度	修繕が必要な施設数 A		修繕に着手済の施設数 B		修繕に着工済の施設数 C		修繕完了済の施設数 D	
国土交通省	H26	6	0	3	0	0	0	0	0
	H27		0		0		0		0
	H28		4		3		0		0
	H29		2		0		0		0
	H30		0		0		0		0
高速道路会社	H26	23	1	8	1	5	1	5	1
	H27		3		2		2		2
	H28		7		5		2		2
	H29		4		0		0		0
	H30		8		0		0		0
県	H26	18	12	1	1	1	1	1	1
	H27		0		0		0		0
	H28		1		0		0		0
	H29		5		0		0		0
	H30		0		0		0		0
市町村	H26	8	0	1	0	0	0	0	0
	H27		0		0		0		0
	H28		6		0		0		0
	H29		2		1		0		0
	H30		0		0		0		0
合計		55		13		6		6	

※道路メンテナンス会議調べ（R1.12末集計）